

「演奏研究」と「社会福祉基礎」の授業が

合同で手話講座を受講しました。

令和5年4月21日・28日

秦野市聴覚障害者協会の講師の方から、ろう者の方の生活や、手話での簡単な挨拶、自己紹介について学びました。



手話は物の形や動き、歴史的な由来から作られていることが分かりました。「山はどんな手話?」、「佐々木はどう表現する?」など講師からの質問に、みんなでイメージを膨らませながら表現しました。

生徒の声

- ◆聴覚障がい者の方に伝えるには手の動きだけでなく表情や身体全体を使うことが大切だと思いました。
- ◆手話の形一つひとつに意味が込められていることが分かりました。
- ◆手話サークルで学んだことや昨年の福祉体験学習で学んだことを生かせました。新しい発見もいくつかあり、改めて、学び直すことも大事だと思いました。

現在、本校卒業生が作詞した秦野市市政50周年の曲、「With you ありがとう」を使い、手話ソング動画を作成中です。